



平成30年12月発生事故

- 製品事故 2件 ①青伸産業運輸(株)、②千代田運輸(株)
 - ①並びに②の事故発生状況は、いずれもフォークリフトで荷卸し作業中、後退しながら右旋回したため荷崩れを発生させたもの。
- 自損事故 1件 (株)トランスポート金沢 12/22(土) 9:48発生
日高MP構内を走行中、漫然運転によりガードレールに接触したものの。

管理者研修会(下期)を開催

12月15日(土) 於日野市商工会館
各管理者に対し、日野自動車殿、
日野警察署殿、東京海上日動火災
保険殿から講話を頂戴した。
また、丸一ロジテック殿にご協力頂
いた「IT点呼」のデモンストレー
ションは、参加者からの反響も大き
く、「良いとこどり」をしていただき
たい好事例であった。



▲中島常務取締役による開会の挨拶



◀解説をお願いした丸一・中村様



▲講話をいただいた左から三木様(日野自動車)
横山様(日野警察署)、鈴木様(東京海上)

▲「IT点呼」のデモンストレーション

交差点等の「右直事故」を防止しよう!

交差点を右折する車と対向直進車が衝突
する「右直事故」は、交差点で多発する事故
パターンの1つだが、中でも右折四輪車と直
進二輪車が衝突する事故が多発している。

- その要因として、右折四輪車が、
- ・ 対向二輪車のスピードを見誤る
 - ・ 対向二輪車を見落とす

といったことが考えられる。

このほか、直進車両に進路を譲られて右折
を開始したところ、直進車両の脇を走行して
きた二輪車と衝突する、いわゆる「サンキュー
事故」も多発している。

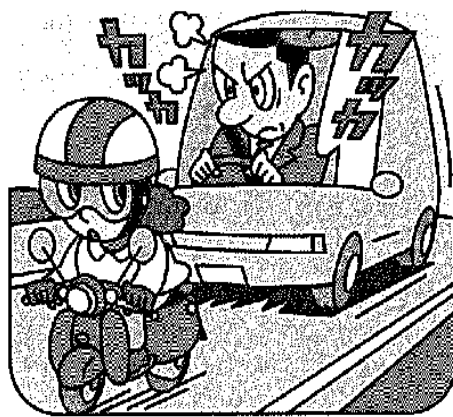
交差点を右折する際は、安全確認を徹底し、絶対に無理をしないように!

右直事故!



イライラ・カッカは思いやりの心を失わせる!

イライラしたり、カッカした状態で車
を運転すると、相手に対する思いや
りや譲り合いの気持ちが失われてし
まう。そのため前車との車間距離を
詰めて威嚇するような運転をする等
攻撃的な運転になりがちである。
イライラしたりカッカしたときは、信
号待ちで停止中などに深呼吸をする
などして気分転換を図ろう!



インフルエンザ予防に「ビタミンD」



インフルエンザ予防には、うがいと手洗いが
有効だが、栄養素で身体の中から予防するた
めに、ビタミンDを積極的に摂取しよう!
ビタミンDは、干しシイタケや鮭などに多く含
まれています。また、皮膚に紫外線が当たるこ
とで、体内でも生成することができると風邪
予防の対策をした上で、できるだけ外に出て

私の交通安全

(株)四国ロジテック 伊藤 則良さん(陸送)



- Q 安全運転の心構えを教えてください。
A 危険な運転者(車)を早目に察知し、離れるようにして
います。そういう車や人には近付かないのが一番です。
- Q 休日の過ごし方を教えてください。
A 10匹いる猫(保護猫)の世話に追われています。
- Q 座右の銘(好きな言葉)を教えてください。
A 「温故知新」です。孔子の言葉で、技術や環境はどんどん新しくなりま
すが、これまで蓄積してきた経験や知識を疎かにせず、しっかりと活か
すという意味です。有名な話では、スカイツリーの建設に1300年以上も
前に建てられた法隆寺の五重塔の「制震技術」が使われたことです。
- Q ご自身の長所と短所を教えてください。
A 物事を客観的に見れるところが長所だと思いますが、一旦落ち込むと
自分を追い込んでしまうところが短所だと感じています。
- Q 最後に、同僚・後輩に対してひと言をお願いします。
A 失敗をしないように慎重に、ことに当たってほしいと思います。私は、同
じ失敗は二度と繰り返さないという気持ちを忘れないようにしています。

タイヤチェーンは正しく装着しよう!

トラック ▶ すべての駆動軸輪に装着します



トラクタ・トレーラ ▶ すべての駆動軸輪とトレーラ最後部に装着します



豪雪地帯では「ダブルタイヤ用トリプル形チェーン」の装着を!!



故事・ことわざから学ぶ

心の駒に 手綱許すな (こころのこまに たづなゆるすな)

【意味】心を馬に例え、放っておくと自由奔放に悪い方へ走りがちなので
手綱を常に制御するように、という意味。

【解説】自動車にはブレーキがあり、これを使う
ことでスピードが抑制でき、危険を回避できる。
しかし、ブレーキはあくまで車の機器であって、
それを操作するのは運転者(人間)である。
運転者の心のブレーキが緩んでいては、いくら



よく利くブレーキを持ち合わせていても、危険回避には役立たない。
運転者は、手綱という心のブレーキを常に持つことが大切である。

編集後記

それぞれの方が、それぞれの場所で、それぞれの年越しをされ、また、
新年を迎えられたことと思います。まだ正月気分が抜けられない方もおられる
でしょうが、ハンドルを握った際は気持ちを切り替え、更なる輸送品質の



太陽の光を浴びよう！

向上に努めましょう。本年もご愛読の程、よろしくお願いいたします。